

平成28年度第4回根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 平成29年2月21日（火）午後6時30分～午後8時00分
2. 場 所 根室市役所 3階 大会議室
3. 出席者 【市政モニター】 10名

【事務局】 4名

4. 以下、会議詳細

◎座長

これまでの会議で出された様々な意見を事務局が集約し、提言書（案）を作成した。今回はこの提言書が今までの会議の議論を踏まえた内容になっているのかを確認したいと考えている。この提言書（案）に基づいて議論し、本日の会議で平成28年度市政モニター会議の提言書として決定したいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

議論に入る前に、配布資料の最後の部分をご覧いただきたい。これまでの市政モニター会議で出された意見を総括すると、まちづくりの主役である市民の意識をいかにして変えていくのかが最も重要ということでモニターの意見が一致したところである。そうしたことから、大人から子どもまでが、故郷根室を誇りに思えるよう意識の改革が必要であり、根室のことを誇りに思える人を育てる取組みを推進してほしい。ということでまとめられている。本日の議論を進める上で、このまとめに記載されている内容を柱にするということによろしいか。

○モニター

異議なし

◎座長

まず、テーマ1の「活力あるまちをつくるために必要な取組み」の①「一次産業を活かした観光振興」について、意見を伺いたい。

○モニター

海と大地に根ざした生産・交流都市というのが根室のキャッチフレーズであり、生産都市という言葉が入っている。1月末でふるさと納税が35億と、前年度比3.7倍になっており、いかに根室の海産物が魅力的かということがわかる。

加えて、就労人口を増やすという点からも、今ある海産物に付加価値をつけるような取組みを行うことで、生産都市ということがより活きると思う。よって、提言書の中にも特産品の更なる工夫・開発などといったことを盛り込んだほうが良いのではないか。海産物の魅力をもっと発信していけば雇用の場も増えていくと思う。

◎座長

ただいま意見をいただいた一次産業に関する商品の付加価値化、商品開発といった内容を1-①「一次産業を活かした観光振興」に盛り込んでもよいか。

○モニター

今の意見には賛成である。一次産業を活かしてという部分を具体化できて良いと思う。

○モニター

正直、自分は一次産業の人間なので言わせてもらうが漁師は、漁に出て、市場に出すのが精いっぱい。そこから加工するとなると、休む暇がない。個人的に漁師は魚を獲ってくるのが仕事であり、加工、流通は二次産業・三次産業の方の仕事だと思っている。個人的にはきついが、六次産業化などの話もあり、提言書に盛り込む方向性としては間違っていないと思う。

◎座長

確かに、二次産業・三次産業の仕事だと思う。そこから雇用が生まれるという話になると思う。

●事務局

話の流れから、一次産業の括りの中にこの意見を入れるのは少し厳しい部分があると思う。1つ項目を増やしてはどうか。

○モニター

そうできるのであれば、よりわかりやすい。要するに活力のあるまちを作っていくというのが大前提である。

○モニター

自分も賛成であるが、一次産業と加工は別だと思うので1項目増やすほうが良いと思う。最終的には多くの観光客が根室を訪れて、お土産を買って帰る。そういうことで多くの雇用が生まれるという流れになればよいと思う。

○モニター

それでは、タイトルを「一次産業兼二次産業等と連携を活かした観光振興」等としてはどうか。

○モニター

1-①「一次産業を活かした観光振興」の項目にまとめるのではなく、別の項目を新たに立てた方がよいと思う。今いただいた意見を集約するのは事務局に任せることとしたい。

○モニター

酪農体験などは大賛成だが、先日たまたま農協、漁協、商工などの関係団体による意見交換会に参加した。その時も、酪農体験という話があったが、口蹄疫などの問題で誰でも彼でも受け入れるというよりは、否定的な意見が多いと聞いた。案外酪農家は消極的なようだ。

○モニター

落石でも漁業者宅への民泊を行っているのか。

○モニター

聞いたことがない。

○モニター

歯舞では行っているが、時期にもよる。なかなか受け入れ先がなく、去年は定置の番屋や大きな商売をしているお宅にお願いしており、いつも同じようなお宅になってしまう。大阪などの修学旅行生を受け入れているが、夏場は多くの家庭で昆布をやっているため、なかなか厳しい。

○モニター

地域全体で受け入れ態勢をつくることができれば理想だが、どうしても一部の漁業者に負担が行ってしまう。

○モニター

その通りである。地域全体でやらないと意味がないと思うが、体育館などの大きな施設を利用するなどしないと、各家庭で受け入れるのは負担が大きいと思う。

○モニター

議論からは外れるが、たまたま観光振興に関連した問題が発生している。落石ネイチャークルーズなどを立ち上げた野鳥ガイドの方が根室を離れるという新聞記事を目にした。聞くところによると契約期限が切れたとのこと。この前のモニター会議で英語を話せるガイドが必要との意見が出たが、そのような立派な人材を放出してしまうというような事態になっていることについてどう考えているのか。

●事務局（広報広聴主査）

申し訳ないが、今回は提言書の内容を踏まえた議論をする場であるため、これまでの議論から外れる発言は控えていただきたい。

◎座長

それでは、1-①「一次産業に関する産業振興」を提言書に盛り込み、新たに根室産の水産物の付加価値向上の取り組みや、新たな商品開発などについての項目を立てるということによいか。

○モニター

異議なし

◎座長

次に、1-②「新体育館の建設」については、前回の会議で、建設することは決まっているが、市民の意見として提言書に盛り込む必要があるという話になっていたが、こちらはいかがか。

○モニター

前回の会議で議論したとおりで、良いのではないか。

○モニター

決まっていると言っているが、自分はどこにどのようなものができるか知らない。

●事務局（総務部長）

座長が言っているのは、将来的に根室市に体育館を建設したいという方針が決まっているだけで、それが実現するように後押ししたいという話である。

○モニター

もっと具体的に決まっていると思った。モニター会議に提言するのはここまでだと思うが、このように我々もモニターとしての意見を出すのであれば、それについての具体的ないつどこでどんなものを作るかなどの案を提示して欲しい。

○モニター

現在、検討委員会で検討している。各団体から集まった市民目線の人たちで検討中という段階である。

●事務局（総務課長）

実現に向けた検討を始めたばかりのため、検討委員会の中で検討され、しかるべき時期になったら発表するというのが今後の流れである。

○モニター

例えば、年度ごとに進捗状況を教えてほしい。という提言はできないのか。

◎座長（岡田）

それは、先ほどの意見とも関連している。提言に盛り込むことも可能だと思う。

○モニター

1つ質問させていただきたいのだが、ふるさと納税がかなりの額に達している。体育館建設基金の積み立てを増やしたりしているのか。

●事務局（総務部長）

今年度、更に基金に1億円積み立てた。よって現在は2億円の積み立てとなっている。今後もふるさと納税が順調であれば、この基金に上乘せされることになると思う。

◎座長

テーマ1「活力あるまちをつくるために必要な取組み」についての提言は、今議論した内容でよろしいか。

○モニター

異議なし

◎座長

次にテーマ2「安心して暮らせるまちをつくるために必要な取組み」に移るが、2-①「地域の拠点病院としての取組み」については、誰もが思っていることなので提言として盛り込んでよいのではないかと思う。先日、分娩再開の報道発表があったが、こうしたことから医師確保等に対する努力は見られたのではないかと思う。この内容はそのまま提言に盛り込みたいと思うがどうか。

○モニター

異議なし

◎座長

次に、2-②「健康づくりの推進」であるが、こちらは、2-①「地域の拠点病院としての取組み」の意見と相反しているようで、繋がっているのではないかと思う。このような意見が市民から出るのはとても良いことだと思うがどうか。

○モニター

健康づくりといえば、ラジオ体操などは、自分の体に合わせて自分のできる範囲で行える。そのようなスポーツを奨励して欲しい。中標津や別海では屋内施設があり、年中行うことができるが根室ではできない。例えばだが、ラジオ体操を取り上げるとすれば、施設やスピーカーなどの整備等に力を入れて欲しいということを提言書に含めて欲しい。

●事務局（広報広聴主査）

「既存の枠にとらわれない健康づくり事業」ということで、整理をさせていただきたい。担当課にはそうした意見があったということを申し伝えるが、提言書にはそこまで具体的な内容を盛り込まなくてもよいのではないか。

○モニター

提言書の内容として、そうした細かなスポーツの種類までは入れなくてよいと思う。

◎座長

それでは、2-②「健康づくりの推進」については、これでよいか。

○モニター

異議なし

◎座長

次に2-③「教育水準の向上」についてであるが、こちらも文言のとおりで特に意見はないのではないかと思う。あるとすれば細々したことで、そういった内容は先ほどもあった通りで、提言書にいれなくても良いと思う。

○モニター

これは、専門的な部署があり、教育委員会が担当であるが、生涯教育という言葉が入っていない。安心して暮らせるまちづくりに必要な取り組みの中に学校教育のことが出ているのであれば、生涯教育も出すべきであろう。

●事務局（広報広聴主査）

その部分についてはテーマ3で触れている部分もある。このテーマ2では教育水準の向上などを主に作成しており、生涯教育の面に関しては、テーマ3に盛り込んでいる。

○モニター

それでは、テーマ3で改めて議論したい。

○モニター

あとは、我々が考えた内容を見て市長がどう判断するかだ。集まって一生懸命考えた内容なので、どうなるか知りたい。

○モニター

今までなら直接聞くことができた。課長も部長も揃っていた。今回は、本当に市長まで通るのかも疑問。

●事務局（広報広聴主査）

その辺については、会議の最後に今後の流れを説明したい。

◎座長

2-③「教育水準の向上」について以上でよろしいか。

○モニター

提言書の中には入れなくても良いが、毎年全国一斉に行う学力テストがあり、根室市は全道でワースト2・3位あたり。同時にあまり公表されていないが、実は体力テストの方も悪い。特に女子が悪い。学力に加えて、体力向上も推進してもらいたい。

○モニター

なぜ体力が低いか理由は分かっているのか。

○モニター

まず、昔は遊ぶにしても野山をかけめぐったりしていたが、今の遊びはゲームが主流。特に脚力の低下が著しい。それから、部活や少年団の加入率もかなり落ちている。

◎座長

その意見については、2-②「健康づくりの推進」の括りとして整理し、2-③「教育水準の向上」はこのまま決定をさせていただく。

続いてテーマ3「市民が知らない根室の魅力を発信するために必要な取組み」であるが、3-①「世界に向けた根室の魅力発信」について意見はあるか。

○モニター

先ほども少し話したが、英語が堪能で、知識も日本一という人が根室にいたが4月から根室を離れる。4月で期限が切れるから雇わないと言われたらしい。落石ネイチャークルーズの立ち上げや、外国人のガイドなど、世界に根室のことを発信している人材を見過ごしている。再雇用なりなんなりで、流出を止められないか。こういった状況にあるということを発信して欲しい。

○モニター

自分もその方と関わっているが、その人は今年60歳になる。元々1カ所に拘らず、いろいろなところに行きたいという希望があったようで、60歳を機会に新天地へ行くことを決めたようだ。初めは確かにもったいないと思ったが、大きな視点で見れば、そうした優秀な人材を1カ所に縛り付けるのももったいないと思う。そのために新しい人材の育成に取り組まなければならない。いなくなるとしても知識だけ置いて行って欲しいと思っている。

◎座長

そこで地元の人が、そのレベルまではいかなくても、もっともっと出てきて欲しいなと感じるし、そのためにも新しい人材の育成に取り組まなければならないことから、3-①「世界に向けた根室の魅力発信」はこのままでよいか。

○モニター

異議なし

◎座長

続いて、3-②「ボランティアガイドの育成」についてはいかがか。

○モニター

先ほど話のあった根室を離れる野鳥ガイドの方は講師としても一流である。それを逃すのはもったいない。既に決定事項なため遅い話だが私はあえて何度も訴えている。根室の人はあの人のレベルについていけない。自分もガイドを受けたが、目が悪く、ついていけなかった。

○モニター

先日、岸壁に車が止まっており、間違いなく野鳥を見ている人たちだと思い図鑑を片手に近づいた。外国人だということもわかったが、片言の英語と図鑑で「この鳥はあれだ。あの鳥はあれだ。」とコミュニケーションを図った。お金が発生しなくても、通じれば楽しい。この経験を中高生にも味わってほしい。ただで本場の英語を聞けて、国際力豊かな子どもが育めるという素晴らしい経験・事業になると思う。

◎座長

こちらの提言もこの通りとさせていただきます。

続いて、3-③「郷土愛の醸成」についても、そのまま採用でよいと思うが、いかがか。

○モニター
異議なし

◎座長

最後に、3-④「市民への根室に関する知識の浸透」に対して何か意見はあるか。

○モニター

自分は子ども会のリーダー研修などを年に6回行っているが、実際には子どもが集まらない。募集定員20名に対して、来るのは15人にも満たない。町会や学校にも募集をかけているが、学校自体がそんなことに時間をかけていられないという感じで申し込みがないため、個人的にお願いしている状況だ。要するに生涯学習と偉そうなことを言っているが、親のレベルがそこに達していない。すべてに共通していると思うが、親が子どもをどう育てるかが重要だ。塾や勉強は一生懸命させているようだが根室は全国でも学力が低い地域だ。問題の一つとしてスポーツをしなくなったのも大きいだろう。なぜなら、勉強のできる地域のほとんどがスポーツを積極的にさせている。いかに親が子どもを甘やかしているか。「迎えに来て」といえば「はいはい」と迎えに行く。昔のように歩くことがなくなった。運動をしないことによって脳の発達にも支障をきたしているという報告も上がっている。生涯学習を推進しろと言っても、集まらなければできない。親に対する情報発信等が必要である。

○モニター

生涯学習の推進について話してきたが、生涯学習の振興・浸透を丁寧にやって欲しい。高齢者には高齢者の、高校生には高校生の、小学生には小学生の学習・教育があり、その場その場で学習機会がある。リーダー研修のように、年齢・学年を問わず一緒になって経験・体験をするという機会が根室には少ない。フレシマの体験学習は・・・

○モニター

既に行っていない。お金がないため実施できない。市内の子どもたちを対象に行ったが、やりたいたいという子どもがいない。

○モニター

例えば、私が幌茂尻小学校にいたとき、子どもたちは漁師の子だというのに網一つ起こしたことがなく、アサリを掘ったことがなかった。そこでわざわざ授業時間にリアカーを引っ張ってアサリ掘りなどに行き体験させた。そのようなところを生涯学習・体験学習として考えればもっと子どもたちの学習や高齢者の学習に繋がっていくのではないか。

○モニター

どこかに生涯学び続ける場を設けるといふ一文を入れてはどうか。

●事務局（総務部長）

いくら生涯学習の場を提供しても集まらなければ意味がないのではないか。

○モニター

だから親の教育が優先だ。

●事務局（総務部長）

その通りだと思う。親世代が学びの素晴らしさ・楽しさ・成功体験などを体感していないから、良さを伝えられない。今までの生涯学習の在り方がニーズと違った。生涯学習と一括りにはできないのではないか。

○モニター

提言は実行性のあるものでなければいけないということ。実際に昔114あった子供会がほとんどなくなっている。そして、かつてあった町内会野球の大会が昔は4日間あったが、現在はもう行われていない。

○モニター

予算を出してあげたいが、子どもがあまりに少なくてチームが作れない。

○モニター

我々根室市民は諦めが早い。集まらないというのは計画できない理由にはならない。計画を作らないから集まらないのだ。

○モニター

それは違う。計画を作っても集まらなければ実行できない。

○モニター

実現できないかもしれないが、計画しなければ人は来ない。

○モニター

計画はしてきたが、それでも来ない。

○モニター

そういう風に諦めないほうがよい。

○モニター

諦めではない。できないのは諦めでも何でもない。どうしようもない。どうしようもない事態になっているが現実で、その改善のためどうしたらよいのか。親が積極的に子どもをイベントなどに参加させてくれるようなシステムを構築してはどうかと提案している。

○モニター

その現状は私もわかっている。それにしても、計画やプランが示されていない。

○モニター

町内会114町会に文書で参加者募集に通知を出しているが無視されているのが現状。理解して欲しい。大人が阻んでいる。

◎座長

今の議論はすごく大切なものだが、ここで議論しても先に進まない。「さいごに」という部分に子どもを育てるためには、大人も根室が持つ魅力をしっかりと理解したうえで、という文言が入っているので、この内容でいかせていただきたい。

これで、示された提言書（案）の全ての項目について了承をいただいた。本日、新たにご意見をいただいた分は座長と事務局で協議し提言書を作成させていただく。

●事務局

本日いただいた意見を加え、最終的に完成した提言書は、今年度の市政モニター会議を代表し座長から直接、市長に手渡ししていただく。その後、いただいた提言に対し、市としての考えをまとめ、モニターの皆さんに通知をするとともに、ホームページなどへ掲載し、市民周知を図りたいと考えている。また、先ほども、意見があった市長と直接、意見交換する場については、今年度は実施できなかったが、来年度以降の課題として検討したい。

5. 閉 会